

E.T.C. 「教育をタイムリーにチェンジする」



長野県総合教育センター通信

し の の め

2018/05/10
(平成30年05月号)
第109号

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目 次

平成30年度総合教育センター研修事業のポイント・・・	1
教職員研修会サポートをご活用ください・・・・・・・・・・	2
単元をつくろう①（国語編）・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4

平成30年度総合教育センター研修事業のポイント

研修事業 「主体的・対話的で深い学び」へのチェンジ！

○子どもの「主体的・対話的で深い学び」につなぐ研修講座

- ・研修講座での教員の「主体的・対話的で深い学び」を，子どもの学びにつなぐ
- ・演習・実習・少人数協議におけるアウトプットで深い学びにつなぐ


◆子どもの深い学びにつなぐ，教員のキャリアステージに応じた指定研修

- ・長野県教員育成指標に基づき，自らの資質・能力の向上につなぐ研修
- ・教員相互の協働性を高め，考えを広げ深める研修

◆教師力・授業力の向上を図り，学力の向上につなぐ希望研修

- ・学校力の向上を目指す研修講座群の充実

 郷土，信州から学び，継承する「信州体験」講座

 現代的な諸課題への対応につなぐICT活用講座

- ・魅力ある教育課程，分かる授業に向けた，教材や授業のあり方を学ぶ教科等教育研修
- ・児童生徒理解と生徒指導上の諸課題への実践力向上を目指した生徒指導研修
- ・一人一人が持てる力を発揮できるインクルーシブな教育を目指した特別支援教育研修
- ・ICTを活用した教育手法を学び，授業力の向上を目指した情報教育研修
- ・産業社会の進展に対応した知識・技能を学び，実践的な教育を目指した産業教育研修



5月末に
決定通知
を送付さ
せていた
だきます。

教職員研修会サポートをご活用ください！

今、あなたの学校の**チェンジ！**に必要な
研修会を、専門主事が**サポート**します。

研修時間は
1時間半以上
2時間以内

サポート期間ごとに
申込期間を設定

研修内容は
支援メニュー
 より**選択**

表紙



P1

「教職員研修会サポート」メニュー

No.	研修メニュー	研修時間	研修対象	研修内容	研修実施時期	研修実施場所
1	国語科指導のポイント	1時間半	教員	国語科指導のポイントがどこにあるのか、学校のニーズに応じて各領域における授業改善について考えます。	5月～9月	本校
2	算数・数学の授業づくり	1時間半	教員	ねらい・目的・内容を明確にし、児童生徒が主体的に取り組める授業づくりについて考えます。	5月～9月	本校
3	理科・算数・数学の授業づくり	1時間半	教員	主体的な学習活動を促す、学びの場づくり、評価・指導の観点から、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
4	「データの活用」データの分析の指導	1時間半	教員	統計分野の指導内容や、指導上の留意点について理解を深め、授業の改善を図ります。	5月～9月	本校
5	英語力高める音読づくり・読者の指導	1時間半	教員	読者の指導について、指導の留意点や、音読の指導法について考えます。	5月～9月	本校
6	国語科指導の授業づくり	1時間半	教員	国語科指導の授業づくりについて、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
7	理科観察・実験基礎講習	1時間半	教員	希望する単元について、観察・実験で用いる観察や実験の準備・実施の留意点について考えます。	5月～9月	本校
8	外国語活動の授業づくり	1時間半	教員	各学級のニーズに応じ、外国語活動の授業の留意点や、指導の留意点について考えます。	5月～9月	本校
9	英語・音楽指導のあれこれ	1時間半	教員	英語・音楽指導の留意点や、指導の留意点について考えます。	5月～9月	本校
10	技術者の安全と機械の整備	1時間半	教員	木工機械や金属加工の機械など、安全面の留意点や、機械の整備について考えます。	5月～9月	本校
11	英語・授業づくりのポイント	1時間半	教員	英語科の授業づくりについて、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
12	話し言葉で学ぶづくり	1時間半	教員	話し言葉の指導について、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校

P2

13	国語科指導の授業づくり	1時間半	教員	国語科指導の授業づくりについて、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
14	児童生徒理解を深めるために	1時間半	教員	児童生徒の理解を深めるために、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
15	不登校への支援について考える	1時間半	教員	不登校への支援について、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
16	児童生徒のいる子どもの理解をより深める	1時間半	教員	児童生徒のいる子どもの理解をより深めるために、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
17	特別支援学校におけるキャリア教育	1時間半	教員	特別支援学校におけるキャリア教育について、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
18	ネット社会の現状と対応	1時間半	教員	ネット社会の現状と対応について、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
19	情報管理の基礎	1時間半	教員	情報管理の基礎について、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
20	ICT活用の基礎	1時間半	教員	ICT活用の基礎について、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
21	学び向上につながる家庭学習	1時間半	教員	学び向上につながる家庭学習について、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
22	今年度の振り返り	1時間半	教員	今年度の振り返りについて、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
23	キャリア教育の活用	1時間半	教員	キャリア教育の活用について、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
24	カリキュラム・マネジメント	1時間半	教員	カリキュラム・マネジメントについて、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校
25	学校図書館の有効活用	1時間半	教員	学校図書館の有効活用について、指導の留意点や、授業の改善について考えます。	5月～9月	本校

センター研修講座受講者の 伝達講習をサポートするメニューを追加

今の学びを将来につなぐ
キャリア教育

みんなで取り組もう！
カリキュラム・マネジメント

学校図書館の
有効活用



校長会資料として配布させていただいていますが、
 センターH.P.の学校支援からもダウンロードいただけます。
 学校の課題に合わせて研修会サポートをご活用ください。



前期サポート期間（5月～9月）の
 申込み期限は**6月末日まで！**
 手続きは、次ページをご覧ください。



教職員研修会サポートをご活用ください

「教職員研修会サポート」の手順

～申込みから当日まで～

Step 1 計画

前期サポート期間 5～9月 ⇒ 申込み期限 6月末日
後期サポート期間 10～2月 ⇒ 申込み期限 9月末日

- ①【校 内】 教職員研修会サポートメニューから研修内容を選択し、研修会の計画を立てます。(申込み期限をご確認ください)
- ②【打 診】 研修内容が決まったら、教頭先生又は研修担当者より、センターの担当部へ電話し、日程等の打診をします。
(研修時間は1時間半以上、2時間以内を原則としてご計画ください)
(実施決定は所属長からの申込み・電話依頼後となります)

教科教育部
0263-53-8803

教職教育部
0263-53-8804

生徒指導・特別支援教育部
0263-
53-8833 (生徒指導)
53-8805 (特別支援)

情報・産業教育部
0263-53-8806

※相談したい部が分からない場合は、企画調査部 0263-53-8802 へご相談ください。

Step 2 申込み

- ③【電話依頼】 所属長より、担当部の部長へ専門主事の派遣を依頼します。
- ④【申請書送付】 「教職員研修会サポート派遣申請書」を作成し、センター所長宛てに送付します。
*派遣申請書の様式は、センターのホームページからダウンロードできます。
記入例を合わせてご覧ください。

Step 3 事前打合せ

- ⑤【電話相談】 教頭先生又は研修担当者と、センターの担当専門主事とで連絡を取り合い、当日の研修会の会場、手順、準備品等について、詳細を打合せます。
実施要項を作成し、実施1週間前までに担当部へ2部送付してください。
- ⑥【近隣校への案内】 可能な範囲で、中学校区や郡市内の同教科・同学年会、担当者会等へも参加を呼びかけてみてください。

Step 4 研修会当日

- ⑦【アンケート記入】 教職員研修会の成果等を記入し、担当専門主事に渡します。

Step 5 研修会のあと

- ⑧【実践・活用】 研修内容を活用し、それぞれの先生が実践します。
*教職員研修会サポートの内容を活用した授業等を公開する場合は、担当専門主事にも是非、ご連絡ください。
*実践する上で困ったことがありましたら、いつでもご相談ください。

単元をつくらう①

国語編



トモニ先生

生徒たちの主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、単元のまとまりを大事にした「読むこと」の単元づくりってどうすればいいのかな？

「読むこと」の学習では、教材文を読んで内容を整理し、一つの解釈に収まるような学習になったり、学習したことが次の単元につながりにくかったりするのよね。生徒たちが「言葉による見方・考え方」を働かせて教材文を読み、資質・能力をよりよく身に付ける学習にするために、見直しをもって単元づくりをしたいのだけれど。



ミガコ先生



つなぐ先生

「読むこと」の単元づくりでは、その文章を読むことを通して身に付ける資質・能力を明確にし、単なる読解に終始することなく、「言葉による見方・考え方」を働かせて読みを深め、自分の考えをもち、表現する楽しい学習活動を考えましょう。

- ①第1次では、生徒の初発の感想などから、目的や必要感のある単元を通した学習テーマを設定しましょう。
- ②第2次では、
 - ・前単元で身に付けた読み方を活用し、本文の内容をとらえる場面を設定しましょう。
 - ・その文章ならではの特徴的な表現に着目して本文を読み深め、自分の考えをもち、考えを交流し合う場面を設定しましょう。
- ③第3次では、学習テーマに対する自分の考えを深め、交流し合う場面を設定しましょう。

例えば「星の花が降るころに」(中1)の単元では・・・

①テーマ設定

『このあと、「私」はどうするんだろう』などの生徒の感想をもとに、目的に読むための学習テーマを設定しましょう。

②追究する

冒頭と最後の場面に描かれる「銀木屋」に関する描写の違いに着目して読み、「私の」心情の変化との関わりを考え、木の下をくぐって出たときの「私」の心情を想像する場面を設定しましょう。

③深める

自分なら、この後作品がどのように展開していくか想像し、登場人物の気持ちと情景描写を関連させながら、作品の続きを書く場面を設定しましょう。

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 中学校第1学年
 【単元名】 「人物の気持ちや出来事を想像し、作品の続きを書こう」(「星の花が降るころに」光村図書 全7時間扱い)
 【育成する資質・能力】

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
(1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにすること。	C読むこと (1)イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。 ウ 場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈すること。 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめなめるにすること。

【主な学習活動と留意点】

前元「読むこと(文学的文章)」からのつながり：
 「花曇りの向こう」…「僕」の気持ちが変わるきっかけになった場面を捉え、音読を工夫して発表した。
 ・「僕」の気持ちが出てくる表現を見つけ、心の動きを捉えた。
 ・「僕」の気持ちが前向きになるきっかけとなった会話の場面を、役割を決めて音読した。

働かせる見方・考え方：情景描写の違いに着目し、情景の変化と人物の心情の変化との関係性を意味付けること。

階	学習活動	留意点
第1次	1 教師の範読を聞き、初発の感想をもつ。(1)	単元の見直しをもつ場面 ☑学習のまとめとして、作品の続きを書き、交流し合う活動があることを知らせ、単元の見直しをもてるようにしましょう 教科書の「学習」も参考にしましょう
	単元を通した学習テーマ：登場人物の気持ちを想像して、作品の続きを書こう。	
第2次	2 場面展開を確認し、人物の心情の変化をまとめる。(1)	前単元の既習事項を生かし内容把握する場面 ☑行動や情景描写から、「私」の心情がわかる表現を抜き出し、心情の変化をまとめましょう。
	3 人物の心情の変化のきっかけとなった場面や出来事をとらえる。(1)	特徴的な表現(教材の価値)に着目して解釈する場面 ☑冒頭と最後の「銀木屋」の描写に関する違いを読み取り、「私」の心情(考え方)の変化との関わりを考えましょう。
	4 作品の続きを考え、交流する。(1)	自分の考えを形成し、共有する場面 ☑人物の気持ちやこの後どんな出来事が起こるか想像し、作品がどう続いていくか考え、お互いの考えを交流しましょう
第3次	5 作品の続きを書く。(2)	単元で学んだことを活用(一般化)する場面 ☑人物の心情の変化とそのきっかけとなる場面や出来事の描写の関連を考えて作品の続きを書く場を設定しましょう。
	6 単元を振り返る。(1)	自分の学びを振り返る場面 ☑単元で何を学んだのか、学習テーマに対する自己評価を自分の言葉でまとめましょう。

次単元へのつながり：
 「大人になれなかった弟たちに…」「僕」の行動や情景描写から、「ヒロユキ」(弟)への心情を捉える。
 ・登場人物の行動や情景描写に着目して、人物の心情の変化を読み取る。

◆働かせる見方・考え方は単元に応じて絞り込むと、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚が高まります。

◆その文章ならではの特徴的な表現を見出すと、ここでは場面展開とそれに伴って変わる「私」の心情に着目し、言葉による見方・考え方を働かせて読むことができます。